

## 築城450年事業の メイン期間が開幕

先月、瀬戸内三原築城450年事業のメイン期間が開幕しました。4日にはオープニングセレモニーが芸術文化センターポポロで開かれ、市民や関係者など約1200人が事業のスタートを盛大に祝いました。

式典では冒頭、瀬戸内三原築城450年事業推進協議会の福島偉人副会長が開幕を宣言し、市民が出演する記念ビデオが上映されました。その後、同協議会の勝村善博会長があいさつし、「官民一体で三原の資源や魅力を市内外に発信し、観光が市を支える産業の一つになるよう取り組みたい」と述べました。



▲祝辞を述べる小早川家の当主、小早川隆治さん

続いて、同協議会の名誉会長を務める天満祥典市長が「毛利三兄弟にゆかりのある市町や近隣市町と連携して観光客呼び込み、「観光のまち、三原」を実現したい」と意気込みを語りました。



▲毛利三兄弟ゆかりの安芸高田市、北広島町による応援神楽(写真は安芸高田市の原田神楽団)



▲三原城の築城を祝って始まったといわれるやっさ踊りも披露

式典には、明治時代に再興された小早川家の当主である小早川隆治さんも招かれ、「こうした催しが行なわれるのは感無量。成功するよう協力したい」と話されました。

式典の後、三原やっさ踊り振興協議会の皆さんによる新旧やっさ踊り、毛利三兄弟の「三矢の訓」にちなんで観光連携協定を結ぶ安芸高田市、北広島町の団体による神楽が披露され、満席となった会場は大いに盛り上がり、事業が閉幕する11月末までの間、市内で65の行事が催される予定です。

☎築城450年事業推進担当室  
0848・610450

## 三原城跡歴史公園が 完成

江戸時代の三原城周辺のようなすべ一部再現した三原城跡歴史公園の整備が終わり、先月4日に完成式典が行なわれました。

市では三原城天主台の堀周辺で、文化庁の補助事業として、平成19年度から国史跡の追加指定や土地の公有化を進めました。平成23年度に始まった発掘調査では、江戸時代の西国街道や武家屋敷の長屋門と考えられる石列などの遺構が見つかりました。

公園は江戸時代の絵地図や発掘調査



▲くす玉を割って三原城跡歴史公園の完成を祝いました

を基に、約3800平方メートルにわたって整備しました。堀の北側に後藤門の石垣、西側に長屋門跡の石列を復元。西国街道があった堀沿いは街道をイメージした遊歩道にしました。休憩施設として長屋門風のあずまややトイレも新設しました。

式典で天満祥典市長は「三原の歴史文化に触れることができる施設として皆さんに親しんでほしい」と述べ、関係者らでくす玉を割って祝いました。公園は今後、市民や観光客の憩いの場として活用します。

☎文化課  
0848・649234